



# 松下 玲子

都議会議員  
まつした れいこ

【松下玲子プロフィール】1970年生まれ。実践女子大学卒業後、民間企業で8年間の勤務後、早稲田大学大学院修了、(財)松下政経塾での研修を経て、2005年都議初当選。現在、2期目。総務委員会副委員長、都議会民主党総務部会部会長。家族は夫(会社員)と子ども。



## 都政報告会

どなたでもお気軽にご参加ください

# 12月18日(土) 10:00~

## Pick Up 01 築地市場で4つの具体案 民主提案で論戦をリード

都議会民主党は、8月3日に再整備のコンセプトなどを提案。これに基づき、都議会の小委員会で、具体的な4つの案が示されました。



築地A2案パース

東京都は「築地での再整備は3,400億円もかかる。無理だ。できない」と言っていますが、築地での再整備は、やればできることが証明されたのです。

参考人である市場業者の発言でも「A2案は、物流面や買い回りなど、市場機能から見ても、豊洲案より優れている」と好評です。

使用料やスケジュールでの指摘もありますが、都議会民主党は、使用料は、試算の方法によってほぼ同等になること、スケジュールも、オリンピック招致計画を参考にすれば短縮は可能であると主張しています。

都議会民主党は、関係者の意向を調査するなど、引き続き、築地での再整備の可能性について調査・検討していく決意です。

## Pick Up 02 豊洲の土壌汚染で新事実発覚 オープンな形での検証を

豊洲新市場予定地の土壌汚染問題では、都民の不安が解消される気配が全くありません。

東京都が行っていた実証実験では、3月の中間報告で、43,000倍のベンゼンについて「無害化できることが実証された」としていましたが、実は、その初期値が2.7倍であったことが、7月になってようやく明らかにされました。

また、豊洲の盛土から汚染物質が検出された問題では、東京都は、搬入土の汚染調査をすると定めた自らの内規に違反していたことも、マスコミに指摘されて、はじめて事実を認めるという体たらくです。

都議会民主党の質問に、東京都は「都民に説明し、理解を得ることが十分でなかった点は反省すべきだと受け取っている」と答弁。都議会民主党は、引き続き、不利な情報でも公開するようなオープンな形での検証を求めています。

# 総務委員会事務事業 質疑

抜粋

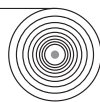
◆11月18日、松下議員は所属する総務委員会で総務局と青少年・治安対策本部に対して、質議を行いました。総務局には質疑の後、市町村総合交付金の活用を通じ、市町村の経営努力を促進し、自主性・自立性の向上や住民サービスの向上に寄与するような、市町村の主体的な行政改革努力に対して、積極的に支援するよう要望しました。

青少年・治安対策本部には自転車対策について、放置自転車対策のためにも、所有者管理の徹底を広域行政として都が調査・検討を行うこと、安全対策として交通事故30日以内死者について調査・分析を行うことを要望しました。

また、青少年健全育成についても現行条例上の取り組みをいくつか確認した後、当事者である青少年の意見を聞くべきであること。治安対策の観点ではなく、教育的な観点から、善悪の判断能力をどのように身につけるか、リテラシー、情報判断能力をどう身につけるか、総合的な視点で健全育成にとりくむべきであると質疑を行いました。



## 松下玲子の視点 — Viewpoint —



築

地市場の移転問題、青少年健全育成条例の改正問題、ともに議論を続けてきて感じることは、都政には思考停止ワードが存在するのではないかということです。「子どものため」「青少年の健全育成のため」都は条例を改正しなければならないと繰り返しますが、都民や議員は「子どものため」という言葉を聞くと、そこで一旦思考停止してしまい、何が子どものためなのか、現状の何が問題で何を变えれば子どものためになるのか、客観的なデータや現状分析に基づいて冷静に仮説を立てて検証しなければならないはずの問題を、それらの作業を全て素通りして、まるで「子どものためには条例改正」しかないとする都からの説明で、他に方法がないかのごとく、思考停止ワードを前にして先に進めなくなっている感じがしています。条例改正さえすれば子どものためになるのだと、聞いた人が反論しづらい、子どものためという言葉を用いて、わざと思考停止に陥らせているのではないとも思えてなりません。

築地もしかり、「築地市場は老朽化、何が何でも豊洲へ移転し再整備しかない」と本来なら老朽化に対応するための方法はいくつもあるはずなのに、移転との結論ありき、都合の悪いデータはひた隠し、「豊洲へ移転」しか方法がないと繰り返し、思考停止に陥らされている都政の中で、都議会民主党が都議会第一会派、野党第一党として、どのように論戦をリードして、本当に都民のための政策を実現していくことが出来るのか、石原知事の任期残りわずか今の今、ここが正念場だと思っています。

議員の仕事とは何でしょうか？いくつかありますが、私は行政のチェックをすることが最大の仕事だと思っています。行政をチェックするためには、現状を分析し仮説を立てて検証する作業を繰り返し、行政からの説明では出てこない、施策の本当の狙いや効果、影響を予測することが大切だと考え、行動したいと思っています。そして、未来に対して責任を持ち、良いものは良いが、駄目なものは駄目とはっきりと意思表示をしていく、議

会が行政をしっかりとチェックする役割を果たす、そのために都民の皆さまから負託を受けて議会にお送りいただいた、都民の皆さまの代弁者としての議員でありたいと思っています。

「ノーと言えない議員はいらない!」と都民の皆さまとお約束して、都議会にお送りいただきました。決して初心を忘れることなく、今年最後の都議会定例会に挑みたいと思います。

都政に関するご意見・ご要望をお寄せ下さい

お名前

ご住所

お電話番号

FAX.0422-50-0697

E-mail reiko@matsushita.name



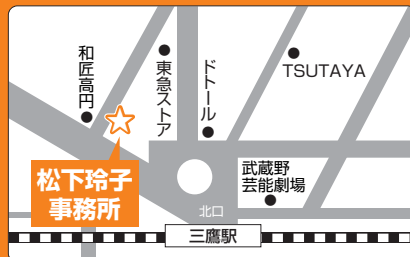
都議会民主党武蔵野支部 都議会議員

連絡先

# 松下 玲子 事務所

〒180-0006 武蔵野市中町1-3-2 ハウスプランニングビル402

TEL.0422-50-0696 FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name



街頭都政報告会 随時開催しています

都政報告

ツイッターにてつぶやき中!

http://www.015.bz

松下玲子 ツイッター

検索